竹原市シルバー人材センターだより４月号

◎現在募集中の就業情報

1. 剪定（初心者でやってみたいと思われる方でも大丈夫です）
2. 草刈り希望の方
3. 草とり希望の方
4. 宿泊施設の自動車運転･･･日･祝日も有り
5. ゲームコーナーの陳列･補充等･･･土･日･祝日等　１日 4H～4.5H

興味があり、やってみたいと思われる仕事があれば説明しますので、遠慮なく事務局まで連絡下さい。

事務局からのお知らせ

◎今年度(令和４年度)の会費納入の受付をしております。早目の納入をお願いいたします。

今年度もコロナウイルス感染防止のため、全体総会の開催を行わないため、議案書･委任状等を５月 11 日以降にお送りしますので、委任状に署名捺印の上、５月 23 日までに返送してください。
今年度も総会用の粗品と、少しではありますが景品を用意しております。
事務所に“当選番号”を貼り出しますので、５月 16 日以降に議案書に添付の抽選番号を持参のうえ来所ください。

◎４月分の配分金の振込は、５月 18 日(水曜日)なります。

◎郵便の配達が土曜日が休みのため、地域によっては遅れることがあります

◎シルバーのごみ置き場の場所が変わりました。就業に必要な方は、事務局までお問い合わせください。

クイズは、うらにあります

答えをご持参の方粗品進呈　5月 18 日　以降にご持参ください。
提出･受取りは会員さん本人に限ります。

数独に挑戦してください。

		1		7	9	8		
7		8	6	5				
		2	8	1				
	1			6	3		2	8
	6		9		5		4	
9	8		2	4			7	
				9	6	2		
				2	7	3		6
		6	5	3		7		

マスの中を 1～9 の数字を埋めて
ヨコ　縦　マスの中の　数字が
重ならない様に埋めてください

例

7	8	2	9	4	6	3	1	5
5	6	3	2	7	1	9	4	8
1	4	9	5	8	3	7	2	6
9	2	4	6	1	7	8	5	3
3	5	1	8	2	9	6	7	4
8	7	6	4	3	5	2	9	1
4	9	5	7	6	8	1	3	2
2	3	8	1	9	4	5	6	7
6	1	7	3	5	2	4	8	9

名　前

問題を読んでマスにあてはまる文字を入れましょう。A～D をつなげてできる言葉は？

1 C	2	3			4
5				6	
7			8 D		
	9	10			
11				12	13
B		14 A			

A	B	C	D

タテのカギ

1. 職、地位。重要な○○○に就く
2. 威力で押さえつける様子
3. 酢飯に魚介などをのせた日本の代表的な料理
4. パジャマはこれの一つ
6. 酒などよりも、甘い菓子を好む人のこと
8. ○○の筍
10. 取引の要素を借方と貸方に分類し、帳簿等に記載すること
11. 良いめぐりあわせ。○○が向いてくる
13. ○○を追う者は一兎をも得ず

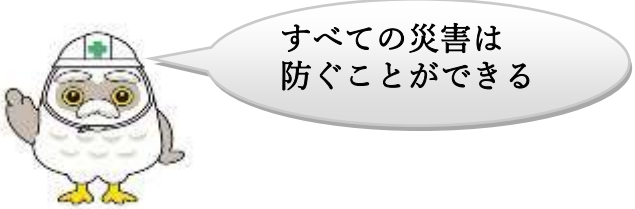
ヨコのカギ

1. 所かまわずゴミを捨てること
5. 靴下などをはいていない足のこと
6. 出家して仏門に入った女性.
7. 物の表面が部分的に出ていること
8. 鰻を巻いた卵焼き
9. 手工、手わざ
11. プール･川･川で使います
12. 栗のいがに似た海産物
14. 億の一億倍

№１７９　　２０２２年４月

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



★今月の事故から★

１．事故の概要（死亡）

モチノキの木を伐採していた際、チェーンソーのキックバックにより、右足下腿部を切り、出血性ショックで亡くなった。

２．事故の原因

キックバックの危険性を常に注意しながら細心の操作が必要であるにも関わらず、注意散漫となり、キックバックを発生させてしまった。また、防護衣は未着用であった。

３．事故後の対応及び再発防止策

【センターの事故後の対応】

○事故発生の一報を受け、直ちに理事長及び安全委員長へ電話報告した。

○事故の翌日、臨時理事会を開催し、事故の概要説明と今後の安全対策について協議を行った。

○後日、安全委員会を開催し、今後の安全講習会について協議した。

【センターの再発防止策】

① 理事会で伐木作業における「安全就業基準（案）」を作成し、管轄の労働基準監督署に提出し指導を仰いだ後、最終決定することとした。

② 基準が決まるまでは、新規の伐木作業は受注しないこととした。

③ 貸出用防護衣を購入し、防護衣未着用の会員にはチェーンソー作業を行わせないこととした。

④「安全就業ニュース臨時号」により全会員へ事故概要の説明と注意喚起を行った。

※センター独自に発行〈年３～４回〉している安全就業ニュースです。

⑤ 全会員を対象とする「緊急安全就業研修会」を開催した。〈４日間〉

【連合の再発防止策及びセンターへの指導】

① 事故原因等確認のための現地調査とセンターへの安全指導を行った。

② 各センターへ事故発生の一報(当日 mail)と注意喚起文書の発出を行った。

③ 上記注意喚起文書に対する各センターの対応状況等を報告させ、それを取りまとめてセンターへフィードバックし、今後の安全対策の参考とさせた。

④ 伐木時の作業手順並びに保護具着用の徹底を図るため、厚生労働省が出している「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」やチェーンソー保護衣及び墜落制止用器具等の資料を、各センターへデータ送信した。

⑤ 他の作業も同様に、作業手順や保護具の着用を徹底させるため、就業前の「確認チェックシート」による確認体制を確立させるとともに、安全就業に関わる事務局職員及びセンター会員の意識高揚を図るため、各種研修等を通じて安全就業の必要性等を強力に指導する。

４．全シ協から

今月も残念ながら先月同様の、伐木作業における事故が発生してしまいましたので、再度掲載させていただきました。上記センター、連合の再発防止策等と、伐木作業における以下の注意点を参考に、基準の見直しなど今一度、各センター、連合において安全第一を優先にご検討ください。

①現場確認の上、樹高、樹木周辺の環境等を確認して受注及び事務局による現場確認、②講習受講の確認、③使用する機械の整備、④複数人での作業、⑤作業手順及び注意事項の作成、⑥保護帽・保護衣の着用、⑦作業当日の現場パトロールの徹底。安全が確保できない場合には、請け負うことはしないでください。※安全就業の手引　第六訂版　Ｐ１５２～１５８をご参考にしてください。

令和４年３月（令和３年度）事故速報

（1） 重　篤　事　故

３月は、４件の重篤事故報告がありました。その結果、令和３年度の重篤事故は、３９件となり、前年度（令和２年度）の４１件と比較して２件の減少となりました。

内訳でみると、就業中の事故は、前年度の２６件から２７件と１件増加しましたが、就業途上の事故については、前年度より３件減少しました。

また、前年度２７件であった死亡事故は２６件と１件減少となっています。

３月報告分までの累計

令和３年度累計	就業中・就業途上	件数	内訳				令和２年度同月累計					
			事故の程度		性別			計	事故の程度		性別	
			死亡	入院	男性	女性			死亡	入院	男性	女性
	就業中	27(3)	20(2)	7(1)	27(3)	0(0)	就業中	26	14	12	26	0
	就業途上	12(1)	6(1)	6(0)	8(0)	4(1)	就業途上	15	13	2	9	6
	計	39(4)	26(3)	13(1)	35(3)	4(1)	計	41	27	14	35	6

前年度比 95.1%　　（　）は、当月報告分です。

３月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
36	男84歳	就業中（死亡）	伐採作業中、チェーンソーが跳ね返り右膝付近に当たり切傷し、出血性ショックで死亡した。	○	○	―
37	男74歳	就業中（入院）	伐り倒した木に登って枝を切り落とす作業をしていた際、誤って転落し刈払いした細竹の切り株が左目の上部に刺さり、負傷したとのことであった。また、相方が到着するまでの約３０分(推定)は１人で作業を行っていたとのことであった。	○	―	―

38	女 71 歳	就業途上 （死亡）	歩行中に南から左折しようとした自動車に巻き込まれ引きずられ頭部挫傷で死亡した。	―	―	徒歩
39	男 71 歳	就業中 （死亡）	高さ７ｍ程の傾斜地の中腹を下りようとしたときにバランスを崩し前のめりに駆け下りるような形で斜面下の遊具を囲っている鉄パイプの柵に腹部を強打し腹部打撲の内臓損傷により死亡した。	○	―	―

（２）１ヶ月～６ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

３月は、就業中の事故１２件、就業途上の事故５件と、合計１７件であり、昨年度同月の３５件と比して１８件の減少となっています。また、男女別では、男性は１０件の減少となっており、女性は８件の減少となっています。

今月は令和３年度分の確定月となります。令和３年度の結果を昨年度（令和２年度）と比較してみると、昨年度２５６件と比して、本年度は２６２件と６件の増加となっています。

就業中・就業途上別にみると、就業中は１９４件で８件の増加となっており、就業途上は６８件で２件の減少となっています。男女別では、男性は８件の減少となっており、女性は１４件の増加となっています。

令和３年度３月分

	仕事の内容		事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢(歳)	
			３月	累計	３月	累計	３月	累計	３月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等		5(9)	72(81)	5(8)	72(79)	0(1)	0(2)	75	74
	除草作業		2(3)	42(30)	2(2)	36(25)	0(1)	6(5)	73	74
	屋内・屋外清掃作業		1(5)	35(39)	1(2)	12(18)	0(3)	23(21)	94	75
	その他		4(7)	45(36)	3(6)	33(28)	1(1)	12(8)	72	75
	計		12(24)	194(186)	11(18)	153(150)	1(6)	41(36)	75	74
就業途上	交通手段	徒歩	2(4)	22(20)	1(1)	6(9)	1(3)	16(11)	79	77
		自転車	2(5)	26(37)	2(3)	13(24)	0(2)	13(13)	81	77
		バイク	1(2)	11(11)	0(2)	6(7)	1(0)	5(4)	82	75
		自動車	0(0)	9(2)	0(0)	6(2)	0(0)	3(0)	―	73
		計	5(11)	68(70)	3(6)	31(42)	2(5)	37(28)	80	76
合　計			17(35)	262(256)	14（24）	184(192)	3(11)	78(64)	77	75

（　）は令和２年度同月の発生件数

※令和３年９月分、１１月分の事故において、植木・樹木の剪定等、男性１名と自転車、女性１名が非該当の報告がありましたのでマイナスいたします。

心が疲れやすい変化の春　セルフケアで心のメンテナンス

1　自分のストレスに気づこう

ストレスためないためには、まず、自分のストレスに気づくことです。「よく眠れない」「食欲がない」といった体が伝えるストレスサインがないか、チェックしてみましょう。また、ストレスの原因になりやすい出来事が複数重なった場合も要注意です。

ストレスサインの例
- ○悲しみ、憂うつ感
- ○不安感、イライラ感
- ○食欲がない
- ○寝つきが悪い
- ○飲酒、喫煙量が増える

ストレス原因になりやすい出来事の例
- ○昇進や配置転換、転勤など役割、地位の変化
- ○仕事での失敗、仕事量や勤務時間などの変化
- ○引越しや騒音などの住環境の変化
- ○家庭内や職場での人間関係に問題が発生
- ○自分や家族の病気・ケガ・災害

ストレスは仕事や日常生活のなかで、気づかないうちにたまってしまうので、多忙なあまり気づくことができない場合もあります。定期的にストレスセルフチェックを行い自身のストレス状態を把握しましょう。

2　ストレスへの対応

ストレスがたまると、メンタル不調などにつながり体の健康にも影響をおよぼします。
ストレスセルフケアの対応としては、次のとこを心掛けしましょう。

○良い睡眠、バランスの良い食事、適度な運動で規則正しい生活リズムを整え、健康を維持する。
○自分に合ったストレス解消法で、休日は気分転換
○悲観しがち、完璧主義といった自分の物事の捉え方のクセを振り返り、見直す。

3　健康的な生活の３本柱

睡　眠　→　目覚めたら朝日を浴びよう
食　事　→　豚肉や大豆に含まれるビタミンＢ１には疲労回復の効果あり
運　動　→　エレベーターより階段を使おう

編　集　後　記

ロシアのウクライナ侵攻を受け、世の中の新型コロナウイルス感染症への関心は徐々に薄れているように思いますが、新年度を迎えても感染症は収まらない状況のまま４月も下旬となりました。今月は昨年度の事故状況を集計する月です。ここ 2、3 年会議等色々な場面で安全就業の徹底をお願いした結果、重篤事故の発生件数を前年比 2 件減の 39 件。この３年間、40 件前後で推移する結果となりました。相変わらず事故の多くは屋外作業で発生し、安全帽さえ被っていれば…というケースも散見されます。　毎年申し上げていますが、シルバー事業において最も重要なことは、安全な就業環境の中で会員のみなさまが明るく楽しく、安心して働けることです。事故は一瞬の気の緩みから起こります。せっかくの楽しい就業の場を、最も大切な命を、事故により失うことがないよう会員のみなさま一人ひとりが日々気をつけて、長く生きがいをもって働き続けることができますよう、このニュースが一助になれば幸いです。　今年度は重篤事故件数過去最低だった平成 28 年の 28 件以下を目標にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。（松山）

日本人の寿命は、なぜ女性の方が長いのか疑問に思ったことはありますか？なんとなく想像はつきますが、改めてネットで検索してみたところ興味深いことが書いてありました。日本の女性の平均寿命は、2020 年の厚労省調査によると約 87.74 歳（世界第１位）、男性は 81.64 歳（世界第２位）で、女性と男性の差は６歳もあります。この男女差は日本だけではなく世界的な傾向だそうです。死因のトップ３である、がん、心疾患、肺炎は、男性の方が患者数が多く、また交通事故も男性が多いという結果から、女性の寿命のほうが長くなる一因となっているようです。一般的に女性の方が思慮深く、慎重に考えて判断したり、基礎代謝量が少ないことで少ないエネルギーで生きていける効率の良い生命体といえます。更に無意識下で社会的ネットワークを構築するのが巧みです。他方、男性は高齢になると孤独な生活を送りストレスや悩みをためやすいそうです。結婚している男性の方が、独身の男性よりも健康的という調査結果もあるようです。女性は普段から食事や健康状態に注意し、年間に医師の診療を受ける頻度も多いそうです。ぜひ男性は女性の生活習慣を見習い、健康な 100 歳会員を目指し、生涯シルバー人材センターの会員としてご活躍いただけると嬉しく思います。また、女性会員がたくさんのお友達をお誘いしていただければ、なお、嬉しいです。（髙木）